

IBM Marketing Operations

バージョン9 リリース1

2014年5月15日

リリース・ノート

IBM

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、25 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Marketing Operations バージョン 9 リリース 1 モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Marketing Operations
Version 9 Release 1
May 15, 2014
Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2002, 2013.

目次

第 1 章 システム要件および互換性 1	プライバシー・ポリシーおよび利用条件の考慮事項 27
詳細情報 1	
第 2 章 バージョン 9.1.0 の新機能および 変更点 3	
IBM Marketing Operations- Campaign システムの新機 能 5	
第 3 章 修正された障害 7	
統合システム内の修正された問題 9	
第 4 章 既知の問題 11	
統合された Marketing Operations-Campaign システム の既知の問題 12	
第 5 章 既知の制限 13	
第 6 章 IBM Marketing Operations Reports Package 17	
第 7 章 IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package 21	
第 8 章 IBM 技術サポートへの連絡 . . . 23	
特記事項 25	
商標 27	

第 1 章 システム要件および互換性

IBM® Marketing Operationsは、IBM EMM 製品スイートの一部として動作します。

- Marketing Operations バージョン 9.1.0 には、IBM Marketing Platform 9.1.0 が必要です。
- レポート作成に関しては、Marketing Operations 9.1.0 は、バージョン 9.1.0 の Marketing Operations および Marketing Operations/Campaign のレポート・パッケージを使用します。

インストール手順については、「*IBM Marketing Operations* インストール・ガイド」を参照してください。

以前のバージョンの Marketing Operations を持っている場合は、「*IBM Marketing Operations* アップグレード・ガイド」を参照してください。8.5.x、8.6.x、または 9.0.0 からは、Marketing Operations バージョン 9.1.0 へ直接アップグレードできます。

詳細情報

組織内のさまざまな人間がそれぞれ異なるタスクを遂行するために IBM Marketing Operations を使用します。Marketing Operations に関する情報は、一連のガイドから入手できます。各ガイドは、特定の目的とスキルのセットを持つチーム・メンバーが使用するために用意されています。

次の表に、各ガイドで入手可能な情報を示します。

表 1. Marketing Operations ドキュメンテーション・セットのガイド

行うこと	参照先	対象読者
<ul style="list-style-type: none">• プロジェクトの計画および管理• ワークフロー・タスク、マイルストーン、および担当者の設定• プロジェクト費用のトラッキング• コンテンツのレビューと承認の取得• レポートの作成	<i>IBM Marketing Operations</i> ユーザー・ガイド	<ul style="list-style-type: none">• プロジェクト・マネージャー• クリエイティブ・デザイナー• ダイレクト・メール・マーケティング・マネージャー
<ul style="list-style-type: none">• テンプレート、フォーム、属性、およびメトリックの設計• ユーザー・インターフェースのカスタマイズ• ユーザー・アクセス・レベルおよびセキュリティの定義• オプション機能の実装• Marketing Operations の構成および調整	<i>IBM Marketing Operations</i> 管理者ガイド	<ul style="list-style-type: none">• プロジェクト・マネージャー• IT 管理者• 実装コンサルタント

表 1. Marketing Operations ドキュメンテーション・セットのガイド (続き)

行うこと	参照先	対象読者
<ul style="list-style-type: none"> マーケティング・キャンペーンの作成 オファーの計画 Marketing Operations と Campaign の統合の実装 Marketing Operations と IBM Digital Recommendations の統合の実装 	<i>IBM Marketing Operations</i> および <i>IBM Campaign</i> 統合ガイド	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト・マネージャー マーケティング実行担当者 ダイレクト・マーケティング・マネージャー
<ul style="list-style-type: none"> システムの新機能の学習 既知の問題と回避策の調査 	<i>IBM Marketing Operations</i> リリース・ノート	Marketing Operations を使用する人すべて
<ul style="list-style-type: none"> Marketing Operations のインストール Marketing Operations の構成 Marketing Operations の新規バージョンへのアップグレード 	<i>IBM Marketing Operations</i> インストール・ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア実装コンサルタント IT 管理者 データベース管理者
Marketing Operations を他のアプリケーションに統合するためのカスタム手順の作成	<i>IBM Marketing Operations</i> 統合モジュール、および API JavaDoc (Marketing Operations の「ヘルプ」>「製品資料」をクリックして IBM <version>PublicAPI.zip ファイルをダウンロードすることによって入手できる)	<ul style="list-style-type: none"> IT 管理者 データベース管理者 実装コンサルタント
Marketing Operations データベース構造の学習	<i>IBM Marketing Operations</i> システム・スキーマ	データベース管理者
作業中に情報が必要になった場合	<ul style="list-style-type: none"> ヘルプを入手して検索するか、「ユーザーズ・ガイド」、「管理者ガイド」、または「インストール・ガイド」を参照する: 「ヘルプ」>「このページのヘルプ」をクリックする すべての Marketing Operations ガイドにアクセスする: 「ヘルプ」>「製品資料」をクリックする すべての IBM Enterprise Marketing Management (EMM) 製品ガイドにアクセスする: 「ヘルプ」>「すべての IBM EMM Suite 資料」をクリックする 	Marketing Operations を使用する人すべて

第 2 章 バージョン 9.1.0 の新機能および変更点

IBM Marketing Operations 9.1.0 には新しい承認ポートレット、承認を素早くキャンセルするオプション、複数タイム・ゾーンをサポート、テンプレートをカスタマイズするオプション、および統合モジュールのインストールにおける変更が含まれています。IBM EMM スイートのバージョン 9.1.0 にはインストールおよびアップグレードのプロセスへの改善点も含まれています。

Marketing Operations 9.1.0 の新機能と変更点に関する詳しい情報は、Marketing Operations に関する一連の資料を参照してください。

承認ポートレット

Marketing Operations 9.1.0 には、新しい承認ポートレットが含まれています。ダッシュボードから、対応が必要な承認へ、承認ポートレットを使用してアクセスできます。新しいポートレットでは承認プロセスが合理化され、プロジェクトの遅延を招くボトルネックが削減されました。

マイ承認の管理ポートレットをダッシュボードへ追加して作業を合理化できます。承認ポートレットは、承認プロセスを評価することが多く、かつ承認プロセスを作成したりレビューのために承認プロセスを送信したりすることがない場合に、最も効果的です。

承認項目に関して以下のアクションを行うことができます。

- E メールに添付して送信
- コメント付きですべて承認
- 変更付きですべて承認
- コメントなしですべて承認
- コメント付きですべて拒否
- コメントなしですべて拒否
- 完了応答の投稿

注: 承認に明細項目がある場合、明細項目を承認または拒否するまで「完了応答の投稿」をクリックできません。

承認の各明細項目に関して以下のアクションを行うことができます。

- E メールに添付して送信
- コメント付きで承認
- 変更付きで承認
- コメントなしで承認
- コメント付きで拒否
- コメントなしで拒否

承認のキャンセル

承認者が、承認プロセスをいかなる状況においても処理することを望まない場合、承認をキャンセルすることができます。承認を開き、「承認キャンセル (Cancel Approval)」をクリックします。

複数タイム・ゾーンのサポート

以前のバージョンの Marketing Operations では、サーバーのタイム・ゾーンにすべての日時が表示されていました。9.1.0 では Marketing Operations はユーザーのタイム・ゾーンに日時を表示します。複数のタイム・ゾーンにユーザーが存在する場合、同じマーケティング・オブジェクトの日時は、各ユーザーに対してユーザーごとのそれぞれのタイム・ゾーンで表示されます。この機能により割り当てられたタスク、要求および承認のタイムラインが、複数のタイム・ゾーンに存在するユーザーにとって理解しやすくなります。

テンプレート属性のカスタマイズ

Marketing Operations 9.1.0 で、計画、プログラム、およびプログラム・テンプレートに属性タブが追加されました。管理者は属性タブを使用して、テンプレート上の標準属性をカスタマイズできます。このカスタマイズ化によって、計画、プログラムまたはプロジェクト作成時に、標準属性が「サマリー」タブでどのように表示されるかが指定されます。

属性が「プロパティ」タブ上で必須か、標準か、または非表示かを、「属性」タブで指定できます。マウス・オーバーで表示されるカスタムのヘルプ・ヒントを追加することもできます。組織が複数のロケールをサポートする場合、属性ラベルおよび各ラベルのヘルプ・ヒントも翻訳することができます。

統合モジュールのインストール

Marketing Operations 以降、IBM Marketing Operations 統合サービス・モジュールは別個にインストールする必要があります。The IBM Marketing Operations 統合サービス・モジュールは別個の有料のコンポーネントです。統合サービス・モジュールを購入された場合は、インストールする必要があります。

IBM EMM のインストールおよびアップグレードの改善点

インストールおよびアップグレードのプロセスは、以下の点が改善されています。

- すべての製品のインストール・ガイドが改訂され、それぞれ別々のインストールおよびアップグレードのガイドに再編成されたことで、情報の検索や使用がしやすくなりました。
- インストーラーでユーザーが入力する情報についてわかりやすい説明が含まれるようになったり、インストールの各段階で行う手順が明確にわかるように、インストーラーが改善されました。
- 各インストーラーには、製品のインストールおよびアップグレード・ガイド (PDF および HTML) を直接参照できるリンクが含まれるようになりました。

IBM Marketing Operations- Campaign システムの新機能

IBM Campaign と統合されたIBM Marketing Operationsシステムの場合、9.1.0 リリースには、プロジェクト属性をキャンペーン属性へ自動的にコピーする新機能が含まれます。

プロジェクト属性をキャンペーン属性へコピーする

バージョン 9.1.0 では、キャンペーンにリンクされた Marketing Operations のプロジェクトおよびプロジェクト要求の作成者が、Campaign によって、自動的により多くのデータをプッシュすることができます。この機能によってデータ入力時のエラーのリスクが低減され、キャンペーン・プロジェクト作成の処理速度が加速します。

プロジェクトからキャンペーンへ自動的にプロジェクト情報をコピーするキャンペーン・プロジェクト・テンプレートを、構成することができます。説明、開始日、終了日を自動的にコピーでき、同じ情報を 2 度入力する必要がなくなります。プロジェクト属性を自動的に Campaign へコピーするには、キャンペーン・プロジェクト・テンプレートを作成する際に、「プロジェクト属性をキャンペーン属性へコピーする (Copy project attributes to campaign attributes)」チェック・ボックスを選択します。

「プロジェクト属性をキャンペーン属性へコピーする (Copy project attributes to campaign attributes)」チェック・ボックスがテンプレート上で選択されていない場合でも、ユーザーはオブジェクト・インスタンスにてワンクリックで情報をコピーできます。このチェック・ボックスが選択されていないテンプレートからインスタンスを作成する場合、「プロジェクト属性をキャンペーン属性へコピーする (Copy project attributes to campaign attributes)」リンクはプロジェクト属性を Campaign へコピーします。

第 3 章 修正された障害

IBM Marketing Operationsバージョン 9.1.0 では、以下の障害が修正されています。

表 2. Marketing Operations バージョン 9.1.0 で修正された障害

問題 ID	説明
1031	ユーザーがプロジェクトのステータスを変更すると、システムはプロセスを開始します。同じユーザーまたは別のユーザーがプロジェクト・ステータスの変更を即時に再試行すると、ダイアログが正しく最新表示されず、ブランク・ページが表示されます。
1082	「クイック・リンク」ポータルに「請求書の追加」リンクが含まれていることがあります。以前は、このリンクは、財務管理モジュールへのアクセス権限を持たないユーザーに表示され、そのユーザーによって使用可能でした。
1095	以前は、拒否される独立した承認のレスポンス履歴が「分析」タブで正しく表示されていませんでした。ステータス変更の順序が正しくありませんでした。「変更されたステータス」メッセージが「拒否済み」の代わりに「拒否待機中 (Waiting to Denied)」として表示されていました。
1209	ユーザーが「アクティブなプロジェクトおよび要求」のリストを表示してからカレンダーを表示しようとする、エラーが発生することがあります。
1818	<p>この問題は、承認の「プロジェクト/承認の所有者は、承認者を追加または削除、あるいはその両方を実行できます (Project/Approval Owner can add and/or delete approvers)」オプションがクリアされており、1 つの Marketing Operations システムから別のシステムにインポートされるワークフロー・テンプレートに当てはまります。</p> <p>そのようなテンプレートがインポートされる際、システム定義の承認者設定はソース・システムからインポートされませんでした。「プロジェクト/承認の所有者は、承認者を追加または削除、あるいはその両方を実行できます (Project/Approval Owner can add and/or delete approvers)」オプションがクリアされているため、ユーザーはそれらの承認の承認者を追加または削除できません。</p> <p>この問題を回避するには、インポートするワークフロー・テンプレートの「プロジェクト/承認の所有者は、承認者を追加または削除、あるいはその両方を実行できます (Project/Approval Owner can add and/or delete approvers)」オプションが選択されていることを確認して、必要なユーザーを追加してください。</p>
2500, 9071	多数のプロジェクト (>750) でプロジェクト正常性 (月次) レポートまたはプロジェクト正常性 (トレンド) レポートが要求された場合、エラー・メッセージの代わりにブランクのレポート・ページが表示されることがありました。ユーザーがプロジェクト正常性 (トレンド) レポートをキャンセルしたときにも、ブランク・ページが表示されることがありました。
3545, 5503	ユーザーが「最新表示」をクリックしても、「正常性ポートレット (My Health Portlet)」の「完了率 (Percentage Completed)」値が更新されません。加えて、ユーザーがこのポートレットの「最新表示」をクリックするとエラーが発生することがあります。
5489	プロジェクト正常性 (月次) レポートには、X 軸のラベルとしてプロジェクト名の最初の 48 文字のみが表示されます。しかし、48 文字より長いマルチバイト文字セットのプロジェクト名が表示されません。

表 2. Marketing Operations バージョン 9.1.0 で修正された障害 (続き)

問題 ID	説明
6058	ユーザーがプロジェクトの「ワークフロー」タブでスプレッドシート・ビュー・モードにあるときに承認タスクを開くと、承認がシステムでロックされます。ユーザーがダイアログを閉じるためのアイコン (X) をクリックして承認を閉じると、ロックがかかったままになります。回避策として、ユーザーは「キャンセル」をクリックしてこのダイアログを閉じてください。
6182	ユーザーがワークフロー・テンプレートをプロジェクトまたはプロジェクト・テンプレートにインポートしようとする、ワークフロー・テンプレートのリストが表示されます。テンプレートに表示される作成日が、ユーザー・ロケールではなく、システム・ロケールの形式になっています。
6236	プロジェクト正常性 (月次) レポート (ドリルダウン) に、正しくローカライズされていないタイトルが含まれています。英語の「Health Report」という語が含まれています。
6381	ワークフロー・テンプレートがプロジェクト・テンプレートまたはインスタンスにインポートされる際に、その値がシステムで検証されません。
7367, 7572, 9200, 9235	サポートされているすべての言語のテキスト・ラベルに対して、プロジェクトの「ワークフロー」タブのアイコンのラベルに割り振られるスペースが十分ではありません。この問題のためにラベルが分かりにくい場合、その回避策として、アイコンの上にカーソルを置き、ツールチップを表示してください。 加えて、単一の水平ツールバーではなく、プロジェクトの「ワークフロー」タブの上部の 2 行にアイコンが表示されます。
9314	これまで、正常性ルールのプロジェクト・テンプレートを選択するためのダイアログがローカライズされていませんでした。スペイン語のロケールを設定するユーザーに対して、正常性ルールのプロジェクト・テンプレートを選択するためのダイアログに、デフォルトのルールが英語で表示されていました。 ルールが正しい言語で表示されるようになりました。
9311	Marketing Operations のインストールの際に pt_BR ロケールを選択すると、エラーが発生します。
12741	「操作」>「タスク」をクリックしてタスクを選択すると、プロジェクトがウィンドウの左側に表示され、タスクの詳細が右側のダイアログで開きます。ダイアログで「タスク・リストに戻る」をクリックすると、エラーになります。
13604	承認を追加して「承認するアイテムの追加」をクリックする際、別のタイプのオブジェクトを指定することができます。システム上のカスタム・マーケティング・オブジェクトの 1 つを選択すると、新規承認を保存する際にエラーになります。
13681	手動データベース・セットアップまたは自動データベース・セットアップのいずれかを使った IBM Marketing Operations バージョン 8.x から 9.0.0 へのアップグレードの際に、非致命的エラーが報告されることがあります。このエラーは、config_migration ユーティリティが新規 Marketing Operations 構成プロパティを Marketing Platform にインポートするときに生じる可能性があります。このエラーは機能に影響を与えません。無視することができます。
DEF062180	複数のユーザーが同一の個人を外出中の承認代行者として委任すると、予期しない状況が起きる可能性があります。それらのユーザーすべてが外出中であり、それらのユーザーに承認が送信された場合、その承認は最初の外出中ユーザーの場合のみ委任されます。それ以外の外出中ユーザーについては、委任が失敗し、メッセージ「委任されたユーザーは既に承認のレビュー担当者です」が表示されます。

統合システム内の修正された問題

以下の表には、バージョン 9.1.0 で Campaign と統合された IBM Marketing Operations システム内の修正された問題が示されています。

問題 ID	説明
5468	IBM Digital Recommendations 設定の値が含まれていないオファー・テンプレートを拡張検索でユーザーが選択すると、その属性が検索結果に表示されます。
8053	ロケールとして中国語を設定するユーザーがターゲット・セル・スプレッドシートを公開しようとする時、例外エラーが発生します。
8437	オファー・インスタンスが作成された後で、オファー・テンプレートの「 Coremetrics URL 」または「 テンプレート用の Coremetrics クライアント ID 」に対して編集が行われる場合、ユーザーがオファー・インスタンスの 1 つに対して作業を行うときに、警告が表示されません。
DEF061337 / DOC00595	オファーの保存検索では、ディレクトリー・レベルに移動してから、結果のページをホーム・ページに設定することができます。しかし、ログインするたびに、ホーム・ページには選択した特定のサブディレクトリーではなくルート・ディレクトリーの検索結果が表示されます。
DEF061838	標準オファー属性を持つオファー・テンプレートを作成して有効期限と発効日を設定する場合、Marketing Operations は発効日が有効期限よりも前であるかを確認しません。
DEF062944	ネットワークや他の問題のために Campaign から Marketing Operations へのオファー・データおよびメタデータのインポートが中断した場合、インポート処理を再開することができます。しかし、オファー・フォルダーのインポート中に障害が発生した場合は、エラー・メッセージ「 FOLDER_WITH_SAME_NAME_ALREADY_PRESENT 」が表示されません。
DEF063702	この問題は、バージョン 8.5 でオファー統合が有効にされた、Marketing Operations-Campaign 統合システムに影響します。8.6 へのアップグレード後は、チャンネル属性とチャンネル・タイプ属性を指定してテンプレートを公開すると、Campaign に存在するそれらの属性のすべての値がデータベース属性テーブルから削除されます。このようなインポートが生じた後に、削除された値を手動で追加して元に戻す必要があります。Campaign で「管理セクション (Admin Section)」の「 属性設定 (Attribute Settings) 」リンクを使用するか、または Marketing Operations のフォーム・エディターを使用して再公開します。

第 4 章 既知の問題

以下の表には、IBM Marketing Operations バージョン 9.1.0 の既知の問題が示されています。

表 3. Marketing Operations バージョン 9.1.0 の既知の問題

問題	問題 ID	説明
DB2® v10.1 で、NOT EXISTS によって重複した結果が生成される	該当なし	DB2 v10.1 を使用するシステムでは、NOT EXISTS 演算子によって重複した結果が生成されます。照会に NOT EXISTS 節が含まれている場合、正しい結果にならないことがあります。 回避策として、 DB2_ANTIJOIN レジストリー・パラメーターを NO に設定し、DB2 サーバーを再始動することができます。次に例を示します。 <DB2-HOME>%BIN>db2set DB2_ANTIJOIN=NO
「前のページに戻る」をクリックするとエラーになる	1054	セキュリティ権限を持たないユーザーがダッシュボードの「前のページに戻る」をクリックすると、エラーになります。
アクセント付き文字を含むフォームを追加できない。	8027	ユーザーはアクセント付き文字を含むフォームを「フォーム名」または「テーブル名」フィールドへ追加することはできません。
夏時間調整によって Marketing Platform と Marketing Operations で表示される時間に差異が生じる場合がある。	49742	ユーザー設定のページに表示されるタイム・ゾーンは静的なリストによるものですが、ユーザーのタイム・オフセット情報は Java™ API を使用して生成されています。Marketing Platform は夏時間調整を考慮しません。そのため、夏時間調整がオンになっている場合、Marketing Platform と Marketing Operations で 1 時間ずれることがあります。
Marketing Operations がデフォルトの SSL ポートに配置されている場合、最近のリンクが動作しない場合がある。	66673	Marketing Operations がデフォルトの SSL ポートに配置されている場合、管理用のページにある最近のリンクが動作しない場合があります。ユーザー用および非管理機能用の最近のリンクは動作します。 この問題を回避するには、管理用のページにある最近のリンクを使用する代わりに、通常の UI を使ってナビゲートします。
Windows 7 および 8 の Adobe Professional XI で Internet Explorer を使用した場合に、SOAP ベースのマークアップがサポートされない。	71602	Adobe XI は、Internet Explorer でマークアップするための SOAP ベース API をサポートしません。この問題は Windows 7 および 8 OS と、IE ブラウザー 9、10 に影響します。この機能は MacOS 上の Safari ブラウザーでは動作します。 この問題を回避するには、SOAP ベースのマークアップ用に Windows 7 および 8 OS で Adobe X を使用します。
ローカライズされたユーザーまたはチームをユーザーが選択した場合に、ワークフローの下方向へコピーする機能でエラーが発生する。	71853	英語以外のロケールでは、ユーザー名またはチーム名に特殊文字を含む場合、ワークフロー・ページでセルの下方向へコピーする機能が値を保存しない場合があります。特殊文字には「^」「」「%」「&」が含まれます。

表 3. Marketing Operations バージョン 9.1.0 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
Microsoft Internet Explorer 9 & 10 ブラウザーでは、Marketing Operations はズーム・レベルを 150% までサポートする。	72048	150% を超えるズームで、ユーザー・インターフェース・レンダリングの問題が発生する可能性があります。
WebLogic 12c が汎用のインストーラーでインストールされている場合、テンプレートのインポートおよび添付ファイルの追加によってエラーが起きる場合がある。	91446	Marketing Operations オブジェクトにサンプル・テンプレートをインポートしようとする、または添付ファイルを追加しようすると、エラーになる場合があります。この問題は、WebLogic 12c が OS 専用のインストーラーではなく汎用のインストーラーを使ってインストールされている場合のみ発生します。 この問題を回避するには、WebLogic 12c をインストールする際、必ず Windows Server OS、Solaris、Linux などの OS 専用のインストーラーを使用します。
プロジェクト要求モードで、宛先のユーザー・タイム・ゾーンが表示されない。	91709	プロジェクト要求編集モードでは、宛先の名前にユーザーのタイム・ゾーンは表示されません。ユーザーのタイム・ゾーンは、プロジェクト要求ビュー・モードに表示されます。
カレンダー・オブジェクトのズーム機能が使用されている場合、現在の四半期および月ごとの値がビューに表示されない。	91722	カレンダー・オブジェクトで、ユーザーが週ごとのビューから、より詳細な時系列のオプションにズームするときに、正しい週の範囲が表示されません。四半期ビューでは、現在の四半期の代わりに第 1 四半期が画面に表示されます。月次ビューでは、現在の月の代わりに 1 月が月次ビューに表示されます。

統合された Marketing Operations-Campaign システムの既知の問題

以下の表には、バージョン 9.1.0 で Campaign と統合された IBM Marketing Operations システムに影響する既知の問題が示されています。

表 4. 統合された Marketing Operations-Campaign バージョン 9.1.0 の既知の問題

問題	問題 ID	説明
Marketing Operations オファーを Marketing Operations からの eMessage 資産へ関連付けることができない。	該当なし	Marketing Operations でオファーを作成し、Campaign で公開する場合、オファーは eMessage でのみ検索でき、アセットへ関連付けることができます。Marketing Operations からオファーを eMessage と関連付けることはできません。
Interact オffer抑止の機能が、Campaign オfferでのみ使用できる。	該当なし	Marketing Operations オfferは、Interact の 2 つの属性 (インタラクション・ポイント ID およびインタラクション・ポイント名) のみをサポートします。Interact におけるオffer抑止の機能は、Campaign で作成されたオfferでのみ使用可能で、Interact で作成されたオfferでは使用できません。

第 5 章 既知の制限

以下の表には、IBM Marketing Operationsバージョン 9.1.0 の既知の制限が示されています。

表 5. Marketing Operations バージョン 9.1.0 の既知の制限

問題	問題 ID	説明
ダッシュボード・ポートレットの複数のスクロール・バー	3066	ブラウザ・ウィンドウのサイズを縮小すると、2 つのスクロール・バーを持つダッシュボード・ポートレットが表示されることがあります。Marketing Operations と Marketing Platform の両方が、スクロール・バー・コントロールを追加します。
プロジェクトおよびサブプロジェクトを手動でクリアする必要がある	5817	プロジェクト正常性 (月次) レポートを要求する際、「プロジェクト」および「サブプロジェクト」を選択して組み込むことができます。これらのリストのいずれかから値を選択した後、他の選択を行う場合、その選択を行う前に、すべてのプロジェクトまたはサブプロジェクトをクリアする必要があります。
Campaign からのオファーに関係のある関連製品は、Marketing Operations へ移行されませんでした。	62333	Campaign オファーには関連製品の機能があり、Marketing Operations オファーにはその機能がありません。そのため、関連製品は Campaign から Marketing Operations へ移行されません。
コメントが定義された上限を超えると例外になる	DEF062980	データベースによって課された上限を超えるテキスト・ストリングをフィールドに入力すると、データベース例外が発生します。例えば、DB2 データベースを使用するシステムで、1,048,576 より長いプロジェクト記述を保存しようとする、エラーになります。これはデータベース・サーバーによって課される制限です。
Safari ブラウザーがデータ・マイグレーション・ファイルを直接ダウンロード・フォルダーにダウンロードする	DEF063699	Safari ブラウザーで Marketing Operations を使用中にデータ・マイグレーションのインポートを実行すると、宛先フォルダーを指定するプロンプトは出されません。インポートされるファイルは、Safari でダウンロード用に指定されたフォルダーに直接ダウンロードされます。
ユーザーは英語以外の言語のマーケティング・オブジェクトを追加することができない	DEF057079	Marketing Operations では、マーケティング・オブジェクト・タイプ名にマルチバイト文字は許可されていません。
フォーム名、フォーム属性名、またはテーブル名のフィールドに英語以外の文字が使用されたフォームまたはテンプレートを追加することができない	DEF057100	英語以外の文字を使用したフォームおよびテンプレートのフィールドは保存できません。
プロジェクトがキャンセルされても、プロジェクトの入力が完了していても、ユーザーはタスク・ペインを使用して「要約」タブを編集できる	DEF057121	ページの右側でタスク・ペインがオープンしている状態で、「サマリー」タブでプロジェクトをキャンセルしたり、プロジェクトの入力を完了したりした場合は、プロジェクトがアクティブではなくても、引き続きタスク・ペインでプロジェクト・フォームを編集することができます。

表 5. Marketing Operations バージョン 9.1.0 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
レガシー・メトリック・テンプレートが新規テンプレートにマッピングされると、1 次キー違反になる	DEF057563	<p>Marketing Operations バージョン 8.5.0 で、外部メトリック・エディターがアプリケーション内に移動しました。バージョン 8.5.0 で作成されたメトリック・テンプレートには、タイプ (計画、プログラム、またはプロジェクトに対応する) を指定する必要があります。</p> <p>Marketing Operations には、バージョン 8.5.0 より前に作成された計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートに使用できるようにレガシー・メトリック・テンプレートが保持されていますが、新しいオブジェクト・テンプレートにはこのタイプ情報がないため、これらのレガシー・メトリック・テンプレートを新しいオブジェクト・テンプレートに使用することはできません。新規の計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートを作成する場合は、同じタイプを持つメトリック・テンプレートを選択する必要があります。新しいオブジェクト・テンプレート内でレガシー・メトリック・テンプレートを使用する必要がある場合は、新しい内部メトリック構成機能を使用してレガシー・メトリック・テンプレートを再作成しなければなりません。</p>
グリッド上のデフォルト日付が必ずしも正しくローカライズされない	DEF057605、 DEF040170	<p>グリッドの日付選択制御は非英語ロケール用にローカライズされないため、一部の非英語言語ロケール (日本語など) の場合、グリッド日付属性のデフォルト値は必ずしもデータ設定されません。</p>
未応答のレビュー担当者は、右側のタスク・ペインからの「保留中」承認を続行できない	DEF057650	<p>レビュー担当者が「保留中」状態の承認に応答していない場合は、右側のタスク・ペインを使用してその承認を続行することができません。タスク・ペインには承認のために「承認」、「変更して承認」、および「拒否」ボタンが表示されますが、「続行」および「キャンセル」ボタンは表示されません。一方、既に承認に応答した承認者は右側のペインから続行できます。</p> <p>右側のペインのボタンはユーザーの役割 (承認者または承認の所有者) に基づいて決定されるため、このシナリオのようになります。承認者と所有者が同一ユーザーである場合は、承認者のアクションが優先されます。</p>
計算メトリックの式は英語でなければならない	DEF057660	<p>メトリック・テンプレートにメトリックを追加する場合、ユーザーはメトリックを「計画」または「ロールアップ」として指定できます。「式によって計算済み」フィールドに式を入力する場合、その式は英語でなければなりません。ROLLUP の代わりに翻訳された文字列を入力すると、エラーが発生します。</p>
メトリック式が検証されない	DEF057726	<p>メトリックに無効な式が指定されると、メトリックを使用するオブジェクト・インスタンスの「トラッキング」タブに入力した値が Marketing Operations によってファイナライズされるときに、例外エラーとなります。有効な演算子とオペランドについては詳しくは、製品資料を参照してください。</p>
データベース・テーブル名で大文字が使用されているカスタム・フォームのグループがアップグレードされない	DEF058551	<p>この制限は、7.5.x から 8.5 にアップグレードし、その後 9.0 にアップグレードする (2 ステップ・プロセス) インストール済み環境に当てはまります。カスタム・グループに属性が含まれ、フォーム・テーブル名で大文字が含まれるカスタム・フォームが正しくアップグレードされません。カスタム・グループは削除され、属性はデフォルト・グループに移動されます。</p>

表 5. Marketing Operations バージョン 9.1.0 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
SSOR/MSOR 属性を追加するとき、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンでオファーを選択できない	DEF059340	Marketing Operations バージョン 8.5 には、Campaign のオファー管理との統合に使用可能なデフォルトのマーケティング・オブジェクト「Offers」(uap_sys_default_offer_comp_type) があります。マーケティング・オブジェクト・タイプ「Offers」を参照する単一選択オブジェクト参照属性が自動作成オプションによって作成されたものである場合、自動作成されるオファーにはいくつかの重要なフィールド (キャンペーン・オファー・コードなど) が生成されないため、問題となります。このようなことに起因する問題を回避するために、SSOR 属性と MSOR 属性には「Offers」の参照が許可されていません。SSOR 属性または MSOR 属性を追加する場合に、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンで「Offers」は選択できません。
オファー・テンプレートのインポートに関する制限	DEF059793	次の場合、オファー・テンプレートはインポートされません。 <ul style="list-style-type: none"> • 同じ ID のオファー・テンプレートが存在する。 • 同じ ID のオファー・テンプレートが以前に公開されて削除されている。 • 同じ名前のフォームがオファー・テンプレートに使用されている。
承認を拒否するための理由を要求する機能を無効にすることができない	該当なし	ユーザーが承認を拒否するときに理由を要求するように Marketing Operations を構成すると、ユーザーは拒否理由の値を選択しなければなりません。ユーザーがこの機能の使用を開始した後、この機能を無効にするようにシステムを再構成することはできません。

第 6 章 IBM Marketing Operations Reports Package

IBM Marketing Operations Reports Package について

IBM Marketing Operations Reports Package は、IBM Cognos® モデル、IBM Cognos レポート一式、および IBM Cognos レポート・ポートレット一式を提供します。

提供されているレポートの仕様文書は、Reports Package とともに ReportsPackMarketingOperations/cognos<version>/docs/ パスに自動的にインストールされます。

Marketing Operations Reports Package がインストールされた後に、以下のオブジェクト間レポートにアクセスするには、「分析」>「操作の分析」をクリックしてください。

- マーケティング活動レポート
- 期限超過マイルストーン・レポート
- プログラム・タスクおよびマイルストーン
- プロジェクト正常性 (月次)
- プロジェクト正常性 (トレンド)
- プロジェクトのオンタイム分析
- プロジェクト・パフォーマンス・クロス集計 (カスタム)
- プロジェクト・パフォーマンス・サマリー
- プロジェクト・パフォーマンス・サマリー (カスタム)
- プロジェクト・タスク
- リソース・タスク・ロード
- リソース使用状況サマリー
- システム・プログラム
- システム・プロジェクト
- システム・ユーザー
- タスクのオンタイム分析
- ベンダー支出サマリー
- ワークフロー承認の拒否理由分析レポート
- 独立した承認の拒否理由分析レポート

単一オブジェクト・レポートにアクセスするには、オブジェクト名をクリックしてから、「分析」タブの「レポート・タイプ」リストを使用します。「分析」タブで選択可能な単一オブジェクト・レポートは、以下のとおりです。

計画用:

- 四半期別の予算サマリー

プログラム用:

- 請求書サマリー・リスト
- 四半期別の予算サマリー

プロジェクト用:

- すべての改訂
- 承認応答
- 請求書サマリー・リスト
- マーケティング・オブジェクト相互参照
- 承認およびコンプライアンスのリスト
- 四半期別の予算サマリー
- 詳細な経費の内訳

チーム用:

- 改訂履歴
- チームに割り当てられた業務
- チーム・メンバーに割り当てられた業務

管理者は、「設定」>「ダッシュボード・ポートレット」をクリックすることにより、レポート・ポートレットを確認して有効にすることができます。「ダッシュボード」タブで、ユーザーはダッシュボードを作成し、それにレポート・ポートレットを追加できます。

- 自分の承認サマリー
- マイ・タスク・サマリー
- プロジェクト・タイプ別の予算
- 四半期別の完了プロジェクト
- プロジェクト・タイプ別の予測
- マーケティング財務状態
- 要請されたプロジェクトと完了したプロジェクト
- プロジェクト・タイプ別の支出
- マネージャー承認サマリー
- プロジェクト・タイプ別のプロジェクト
- ステータス別のプロジェクト
- マネージャー・タスク・サマリー
- 自分のタスク
- 承認待ち操作
- 自分のアクティブ・プロジェクト
- 自分の要求
- 自分のアラート
- 予算超過プロジェクト
- マイ・タスクの管理
- マイ・プロジェクトの正常性

新機能および変更点

プロジェクト正常性の月次レポートおよびトレンド・レポート、ワークフローおよび独立した承認の拒否理由分析レポート、および「マイ・プロジェクトの正常性」レポート・ポートレットがこのリリースで新たに加えられました。

既知の問題

本リリースに既知の問題はありません。

第 7 章 IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package

IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package について

IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package は、Marketing Operations と Campaign の両方からの情報を結合するレポート一式を提供します。このパッケージのレポートは、Campaign システム・テーブルからデータを取得します。これらのレポートを使用するには、Marketing Operations-Campaign 統合を有効にし、IBM Campaign Reports Package と IBM Marketing Operations Reports Package の両方をインストールする必要があります。

提供されているレポートの仕様文書は、この Reports Package とともに ReportsPackCampaignMarketingOperations/cognos<version>/docs/ パスに自動的にインストールされます。

この Reports Package には、以下の IBM Cognos レポートが含まれています。

- キャンペーン・セルの収支比較
- キャンペーン・オファーの収支比較
- チャネル別のキャンペーン・オファーの収支比較

これらのレポートは、「分析」>「操作の分析」をクリックすることによってオブジェクト間レポートとして実行することも、プロジェクト名をクリックしてから「分析」タブにある「レポート・タイプ」リストを使用することによって単一オブジェクトのプロジェクト・レポートとして実行することもできます。

新機能および変更点

このリリースの IBM Cognos レポートに新機能および変更点はありません。

既知の問題

表 6. IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package の既知の問題

問題	問題 ID	説明
キャンペーンに属性が指定されていないオファーが割り当てられている場合、「キャンペーン・オファーの収支比較」レポートが空白で表示される	DEF046423	キャンペーン・プロジェクトの連携キャンペーンに、オファー属性を持たないオファーに割り当てられたセルで構成されたフローチャートが含まれている場合、レポートは空白で表示されます。このレポートを正しく表示するには、セルに割り当てられたオファーに以下の属性が含まれていなければなりません。 <ul style="list-style-type: none">• オファーの固定費• オファー調達費• レスポンス収益

第 8 章 IBM 技術サポートへの連絡

文書を参照しても解決できない問題があるなら、指定されているサポート窓口を通じて IBM 技術サポートに電話することができます。このセクションの情報を使用するなら、首尾よく効率的に問題を解決することができます。

サポート窓口が指定されていない場合は、IBM 管理者にお問い合わせください。

収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質の要旨。
- 問題発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細な記録。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 「システム情報」の説明に従って入手した製品およびシステム環境に関する情報。

システム情報

IBM 技術サポートに電話すると、実際の環境に関する情報について尋ねられることがあります。

問題が発生してもログインは可能である場合、情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。そのページには、インストールされている IBM のアプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページは、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択することにより表示できます。「バージョン情報」ページを表示できない場合、どの IBM アプリケーションについても、そのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを表示することにより、各アプリケーションのバージョン番号を入手できます。

IBM 技術サポートのコンタクト情報

IBM 技術サポートとの連絡を取る方法については、IBM 製品技術サポートの Web サイト (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントでログインする必要があります。可能な場合、このアカウントは、IBM 顧客番号とリンクされている必要があります。アカウントを IBM 顧客番号に関連付ける方法については、Support Portal の「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
170 Tracer Lane
Waltham, MA 02451
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することが

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよび利用条件の考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的な事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、

および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含むさまざまなテクノロジーの使用については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 (<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。



Printed in Japan